

第3回 学術政策セミナー

-大学のこれからを考える-

2016年3月9日(水) 14時30分-17時15分

大阪大学最先端医療イノベーションセンター棟1F マルチメディアホール
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番2号

平成16年4月の国立大学法人化以降12年が過ぎようとしています。この間、運営費交付金の削減等の変化を感じることはありますが、法人化時に国立大学はどのように変わることが期待されてきたのか、そして現在国立大学法人はどのようになることが期待されているのか、そのようになるためには構成員はどのように考え、行動しないといけないのかを立ち止まって考える機会はいくらもありません。今回は、このそもそもの所を「これからの国立大学改革」と題して参加者の方々と考えたいと思います。

まず、産業界から現在の国立大学法人はどのように見えているのか、また、どのように変わることが期待されているのかについて話題提供をいただきその認識を深めたいと思います。その後、大学が自ら考え、自ら行動するためにその構成員はどのような行動をとることが求められているのかについて話題提供いただき、参加者一人ひとりが自らの行動にどのように反映できるのかを考える機会としたいと思います。

なお、本セミナーは大阪大学職員の研修の一環として開催をしておりますが、学内外でご関心を持つ方々に広くご参加いただけます。

「これからの国立大学改革」

講演1 「国立大学改革への期待」

永里 善彦(日本経済団体連合会 未来産業・技術委員会 産学官連携推進部会長)

京都大学大学院エネルギー科学研究科 後期博士課程修了(博士(エネルギー科学))。1965年4月旭化成工業株式会社(現旭化成)入社。情報システム部門、エンジニアリング部門、半導体部門などに勤務。1987年より旭リサーチセンターに出向、主としてエネルギー・環境分野を専門に国際的視野にたち活躍する。2004年旭リサーチセンター代表取締役社長などを歴任。現在、文部科学省 中央教育審議会大学分科会等委員、一般社団法人日本経済団体連合会 未来産業・技術委員会産学官連携推進部会長、平安女学院大学 客員教授などに従事。専門のエネルギーのほか、比較人類学、民俗学、方言学に精通。

講演2 「「コーポレート企画職の機能と体制」- 国立大学の論理的
マネージメントの要 -」- 先見性と危機管理 -

高尾 正敏(大阪大学 未来戦略機構 次世代研究型総合大学研究室 特任教授)

大阪大学大学院基礎工学研究科 博士課程 修了(工学博士)。松下電器産業(株)、パナソニック(株)で光ディスクの研究開発、研究企画に従事。これまで、文部科学省の元素戦略プロジェクト等の委員や(独)科学技術振興機構の事業統括、研究総括、各大学部局の外部評価委員などを歴任。現在、大阪大学 未来戦略機構 次世代研究型総合大学研究室 特任教授。同大型教育研究プロジェクト支援室を兼務。

参加申込

大阪大学職員研修で参加の場合: 部局等の事務担当にご確認ください
上記以外の場合: <http://osku.jp/v005> からお申し込みください。
定員になり次第、受付を終了します。



お問合せ

大型教育研究プロジェクト支援室(担当: 高野、福島)
メール: seminar@lserp.osaka-u.ac.jp

主催: 大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室